

YAMANASHI

富士山をめぐる山梨県の取り組み

山梨県知事 長崎 幸太郎

CNN：アメリカに本社がある世界最大のニュース専門チャンネル



富士山は世界遺産の地位喪失の危機に直面している。



OVERTOURISM IN JAPAN

MOUNT FUJI'S WORLD HERITAGE SITE STATUS UNDER THREAT

Practice of "bullet climbing" increases threat of mountain sickness for visitors



CNN NEWSROOM

弾丸登山が多くの登山者を危険にさらしている。

AFP：正式名称はフランス通信社。パリに拠点を置く世界最古の国際通信社



Overcrowding on the trails to the summit is putting visitors at risk

AFP

登山道の過密状態が来訪者を危険にさらしている。

REUTERS : AFPと並ぶ世界三大通信社のひとつ。ロンドンに本社がある。



SNSには、登山道沿いの汚れたトイレやゴミの山についての投稿で溢れている。



信仰の対象と芸術の源泉

2013年4月

イコモス勧告（登録）

2013年6月

ユネスコ世界遺産委員会において登録決定



**3つの条件が付いた世界文化遺産登録
= 世界に対し、課題の解消を約束する「国際公約」**

世界文化遺産登録10周年の今、富士山は世界中から注目されている

人が多い



人工的景観
が目立つ



信仰の場にふさわしい景観を

環境負荷
が大きい



改善されない場合、世界遺産抹消の恐れも



マーケット 外為 株式市場 ニュース ビデオ More

水の都ベネチアを「危機遺産」に

ユネスコが勧告 2023年7月



一昨年に続き2度目
オーバーツーリズムが主な原因

課せられた課題を
地元で解消できなかった
↓
課題に対する
当事者能力の欠如が
世界に知れ渡る

増え続ける来訪者

五合目来訪者の推移



富士山登山鉄道構想の概要



既存道路（富士スバルライン）
上に軌道整備

架線レスシステム



富士山吉田口
五合目

富士スバルライン

地中に電気などの
ライフラインを整備

五合目の現状



昼夜稼働する発電機



混雑する広場



処理能力を超え、
使用できなくなったトイレ



山肌を削って
整備した駐車場

整備後イメージ ①



切り取った山肌をいったん埋め戻し自然回帰

整備後イメージ ②



自然と調和したエントランス空間

整備後イメージ ③



富士山を望む開放的な広場



富士山を間近に望む、特別な体験

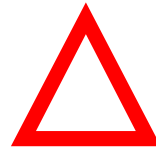
電気バス = 動力が電気に代わっても「バス」

「国際公約」として解消を
世界に誓った課題

人が多い



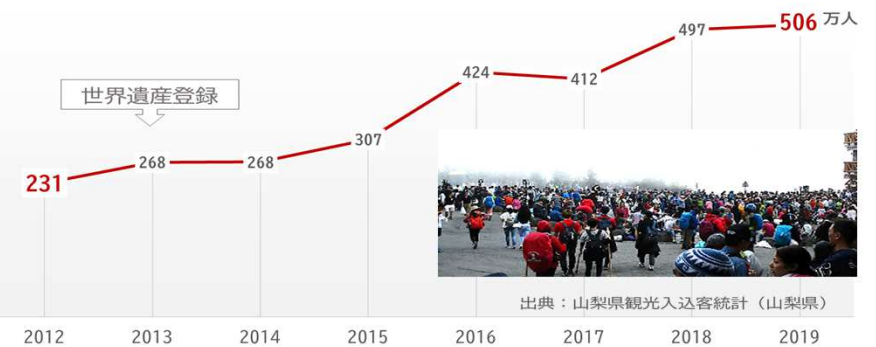
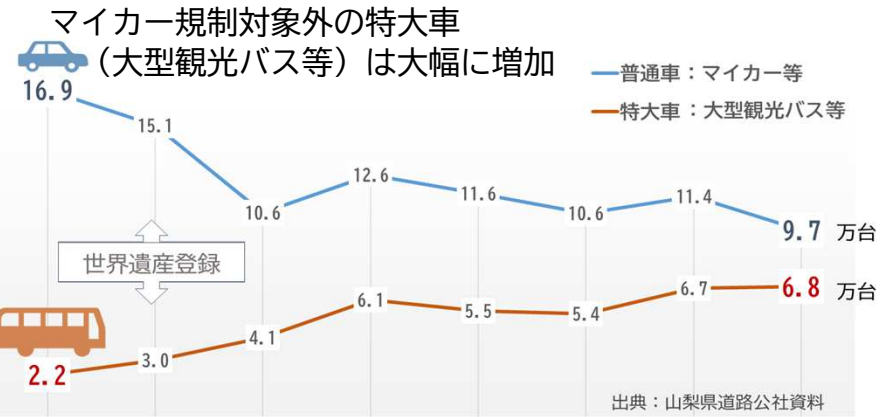
環境負荷
が大きい



人工的景観
が目立つ



バスでは
駐車場を残す必要



出典:平成27年5月 世界遺産富士山の環境と観光のあり方検討会報告書(事務局:富士五湖観光連盟ほか) (○×△・斜字は山梨県が追記)

交通モードが具備すべき要件		バス	ロープウェイ	ケーブルカー	LRT	モノレール	鉄道
上質感	ゆったりと眺望や会話を楽しめる座席空間	× 一人あたりの占有スペースは狭い			○ 座席の配置や車両構造を工夫することによりゆったりとした空間を設けることが可能 ※ただし輸送力が小さくなる可能性がある		
	車内でしか体験できない希少なサービス(例:飲食)	× サービスを提供するのに必要な空間的余裕が乏しい			○ 座席の配置や車両構造の工夫による必要空間の確保、サービスを提供する乗務員の乗車や車両振動の抑制といった諸条件が満たせば提供可能		
バリアフリー乗降(・車内移動)のしやすさ		△ 整備可能 ※車いす利用者が車内を移動できるほどの空間確保は難しい			○ 整備可能 座席配置、車両構造の工夫の余地あり		
年間を通じた安全・安定運行		△ タイヤチェーンを装着して輸送可能であるが、路面の除雪・融雪が必要	△ 強風に対する特別な対策が必要		○ 少々の積雪には影響を受けない 除雪・融雪のシステム整備は必要	△ システムにより異なる 懸垂式○ 跨座式×	○ 少々の積雪には影響を受けない 除雪・融雪のシステム整備は必要
シンボル性	麓における交通拠点が地域の拠点となるようなインパクトを持つ	× インパクトはそれほど大きくない (現状の富士北麓駐車場周辺における集積状況から)			○ 強いインパクトを与える可能性がある		
	五合目における空間利用・空間配置を検討する上での中心的な存在となり得る	× 五合目の空間利用を変更するようなインパクトはない			○ 五合目の空間利用、空間配置を大きく変えるインパクトを与える可能性がある		
物資や廃棄物輸送が可能な運行計画、車両設備の導入		× 物資や廃棄物を輸送することは現実的ではない			○ 運行計画や車両構造を工夫することで物資や廃棄物を輸送することが可能 ※鉄道においては施設内に上下水施設を付帯的に整備し処理することも可能性として考えられる。		

令和元年7月～9月 (92日間) の富士山五合目来訪者数1,681,605人を全て輸送することを想定。

	期間中の 延べ必要便数	1日当たりの 延べ必要台数	必要台数
EVバス77人乗り (座席定数25の場合)	67,264便 (1,681,605人÷25)	731便 ÷92日間= ÷7往復=	104台
			<ul style="list-style-type: none"> ・ LRTの約4倍超の運転手が必要 ・ 約1分に1台 バスが発車する必要がある
EVバス77人乗り (乗車定員77人の場合) ※77人乗車は物理的に困難	21,839便 (1,681,605人÷77)	237便 ÷92日間= ÷7往復=	33台
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 立乗り満席状態は、観光の質、安全面で世界標準を満たさない
LRT (座席数120席の場合)	14,013便 (1,681,605人÷120)	152便 ÷92日間= ÷6往復=	25編成

1 エネルギー効率

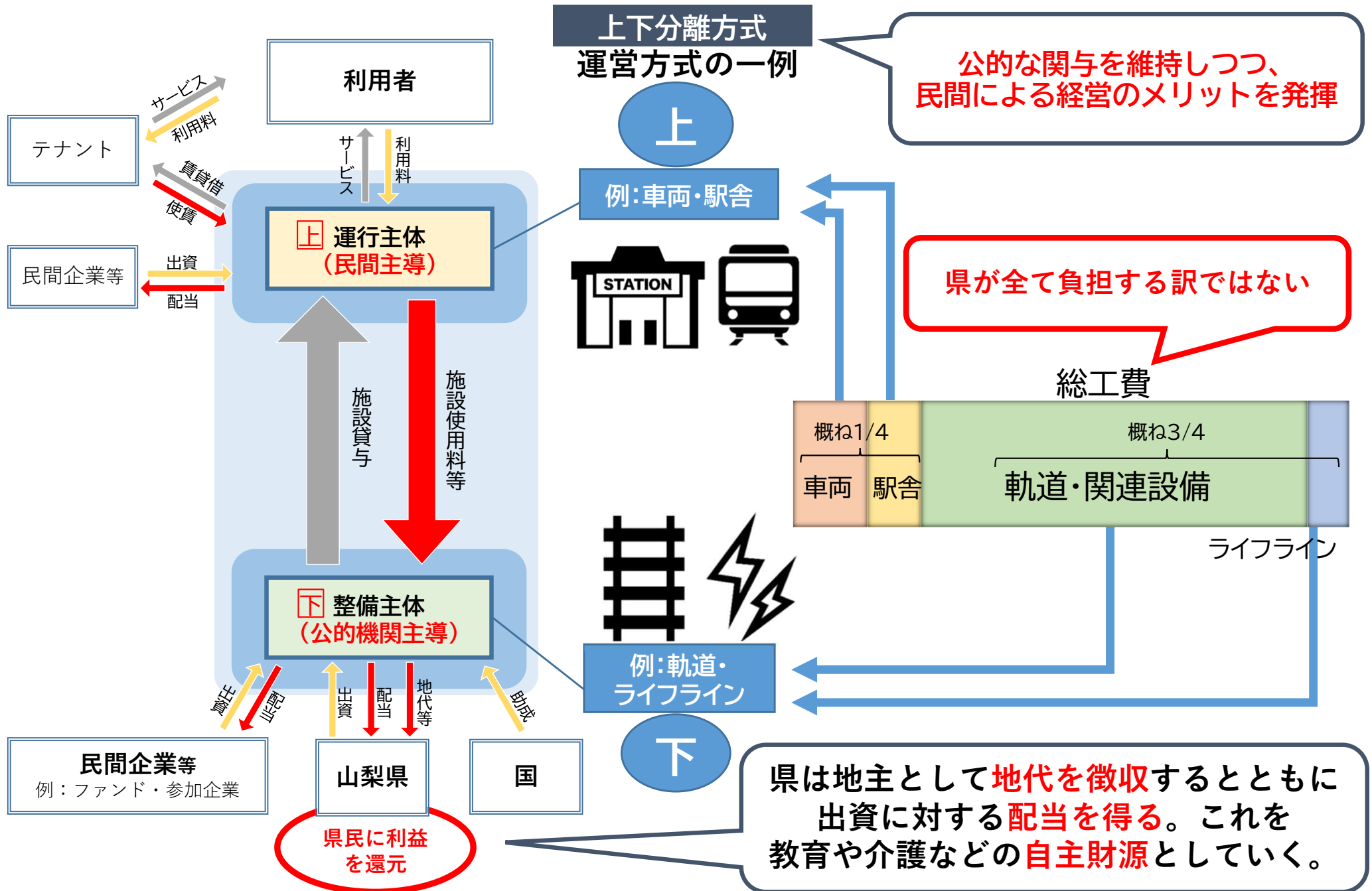
- 鉄輪のLRTは、走行抵抗の小ささからエネルギー消費量が少ない。
- さらに、降坂時のエネルギーを回収して登坂に使えば、エネルギー消費量を僅少に抑えられる。
- 電気バスでも同様のエネルギー回収は行えるが、重量の大きなバッテリーの搭載が必要。
- LRTは、地上側集電(全線に敷設しなくても、部分敷設やエネルギーステーション方式も可能性)を用いれば、大きなバッテリーは不要。

2 道路における通行規制

道路法、道路交通法は、法令に規定された理由がない限り自動車の通行を規制することはできない。軌道法では、道路におけるLRTの通行が優先される。

疑問2

県が全額負担するのか？ ～上下分離方式による官民の役割～



100年後から見て誇れる地域へ

